

高所作業車用

# 上部検知レーザーセンサー

業界初!



自由に  
距離設定

作業者エリアは  
検知しないように  
"飛び地"の設定が可能

TRY!!!

体感  
して下さい

高所作業車を使用した作業時において、誤操作や作業者の不注意により、バケットと既設構造物に作業員が挟まれる事故が多く発生している。

事故発生状況

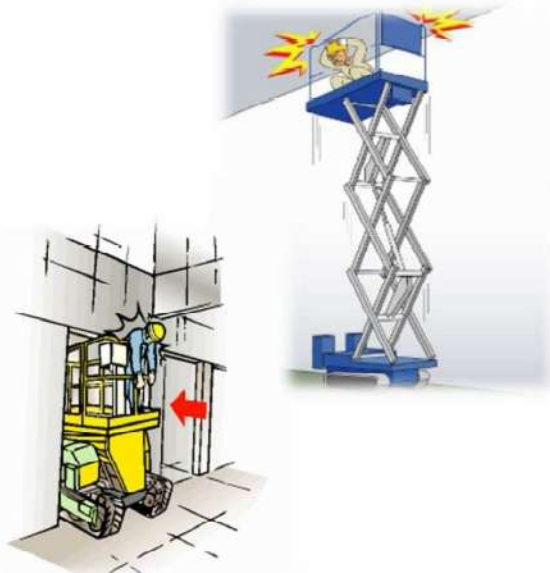
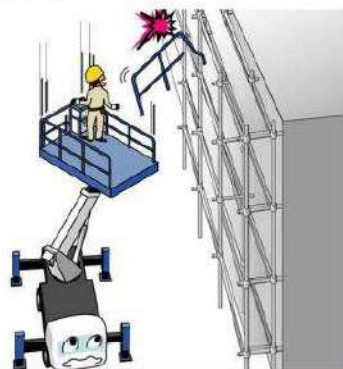
① 誤操作による事故

デッキから身を乗り出して、道路上の合図者に確認しながら旋回操作中に誤って起伏スイッチに触れてしまい、橋梁とデッキガードに挟まれた。



② 周囲確認不足による事故

作業中に、足場のパイプにデッキガードが引っかかった状態で、ブーム下げ操作を行い、デッキガードが抜け、落下した。



(株)タダノ社HPサイトより引用

「ハットセンサー上部検知仕様」を高所作業車用センサーとして利用する際の課題

- ① 検知エリアが楕円形のため作業者を検知してしまう
- ② 機器の電源を重機から取得する必要がある
- ③ マグネット設置のため、設置場所が限られる (手摺りへ設置できない)



「ハットセンサー上部検知仕様」は作業者が存在するバケットの挟まれ防止としては不向き...



クレーンなどの「重機」と「上部構造物」の接触防止用として適している





## 「高所作業車用レーザーセンサー」の特長

作業者を検知してしまう・・・

- ① レーザーセンサーにより検知エリアを直線に
- ② 検知エリアの“飛び地”設定が可能  
⇒ 50cmごと、最長5mまでの検知距離  
⇒ 「検知上限値」と「検知下限値」を設定

機器の電源取得が必要・・・

- ③ バッテリー(単三電池)×4本で駆動

マグネットで設置場所が限られる・・・

- ④ クランプ金具で手摺りに簡単に取り付け

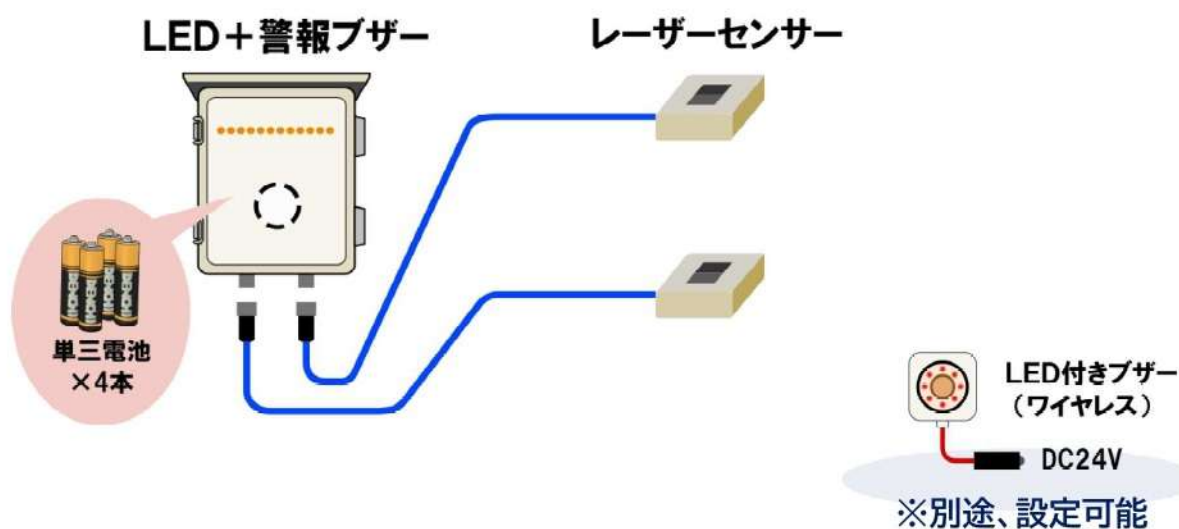


Copyright ©2021 株式会社ツクモア All Rights Reserved.

3



## 「高所作業車用レーザーセンサー」の機器構成



Copyright ©2021 株式会社ツクモア All Rights Reserved.

4



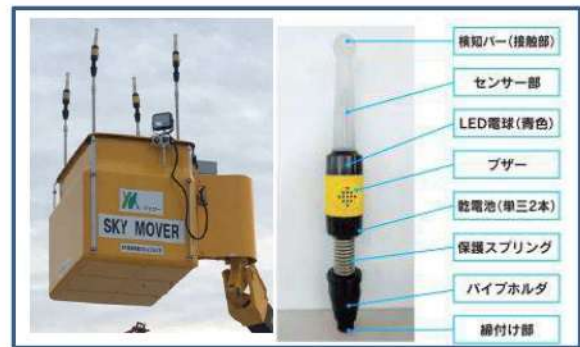
高所作業車用安全機器(ご参考)



パノラマHL(つくし工房)



セーフティーポール(首都高技術)



はさまれん棒  
(中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋)

取り扱い説明



**【Power】**  
電源をON/OFFします。  
電源ON時に電池残量が表示されます。  
※「00(電池残量無し)」~「08 or 09(満充電)」

**【Volume Down】&【Volume Up】**  
警報音量を調節します。  
※「00(消音)」~「09(最大)」

**【Upper】**  
検知上限値を設定します。  
※0.5m~5.0m

**【Lower】**  
検知下限値を設定します。  
※「0.0」m~「4.5」m  
※検知上限値に依存します。



下限値(Lower)から1m以内は、ビビビッ (警告音)  
下限値(Lower)から1m以上は、ピッピッ... (注意音)